



東北大学災害科学国際研究所教授

川島 秀一

18:00 - 19:30

名古屋大学減災館 1 階減災ホール

日本の

2017年 10月 6日(金)

災害文化

想定外の豪雨や地震が頻発する今日、自らの命を守るためには、自然の異変を感じ取れる感性と、自然災害に対する素早い対応力が高められなければならない。そのためのヒントを、山や海の自然を相手に生活している人々の災害伝承や知恵、自然や動物の行動の捉え方など、各地の事例を紹介しながら導き出してみたい。



安政元年の津波供養碑に墨を入れる行事
(2015/8/21 大阪府浪速区幸町)



天明 3 年 (1783) の浅間山大噴火のあった日に「浅間山大噴火和讃」が今でも上げられている (2016/8/5 群馬県嬬恋村鎌原)

主催：名古屋大学 減災連携研究センター

★お問い合わせ：TEL (052) 789-3468

※講演の撮影・録音はご遠慮ください。

※駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用ください。